

9 県民のあゆみ

山形県広報誌
令和3年9月号
No.623

県民のあゆみ

9
No.623

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページ | 山形県知事 吉村美栄子
https://www.pref.yamagata.jp/



「リサイクル」の
この冊子は、印刷用紙の
リサイクルでできています。

- 2 県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報
- 4 特集 山岳県「山形」の魅力を県内外へ発信！
～いよいよ来夏 第6回「山の日」全国大会 開催～
- 8 奏であう人 「日常化」する“災害”から身を守るために
- 16 やまがた伝説 飛島

日本百名山「月山」山麓にある、今年30周年を迎えた県立自然博物園のスタッフの皆さんと新名所“トチノザウルス”。県では、山形の豊かな山岳資源を活用した地域活性化と交流人口の拡大に取り組んでいます。
(撮影協力：NPO法人エコプロ)

やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

やまがた けん ゆい いつ ゆう じん り とう とび しま
山形県唯一の有人離島、飛島は
バードウォッチングの聖地
ゆう だい し ぜん ふ し ぎ
雄大な自然に不思議がいっぱい!?



飛島は、酒田港から北西39kmの沖合に浮かぶ、周囲約10.2km、標高68mの小さな島です。1千万年以上も前に、海底火山の噴火や海底の隆起などによって、海底山脈の一部が海上に顔を出しました。波の侵食を繰り返してきた独特の段丘や奇岩、奇景から「不思議の島」とも呼ばれています。2016年には、溶岩が柱状に冷え固まった烏帽子群島や太古の地層が見られるゴト口浜など、地球の営みを間近で学び楽しめる「鳥海山・飛島ジオパーク」として、日本ジオパークに認定されました。



山形県でもっとも北に位置するの
に、島内ではちばん暖か
いって本当!?

飛島は、島の大部分が鳥海国定公園に指定されています。対馬暖流の影響により、年間の平均気温が12°C前後と暖かく、幹回り4メートルを超えるタブノキやアカマツの巨木が見られるほか、高山植物のニッコウキスゲが海辺の環境に適応したトビシマカンゾウなど、独自の貴重で多彩な自然環境が特徴です。また、渡り鳥の中継地となっているため、本土では見られない希少な鳥も多く、島内で観察できる野鳥の種類は約300種とも言われています。



大地と海の活動が作り出した地形や風景が、島のつたnewJINで見られるんだって!?

飛島には、住民175人（令和3年6月末現在）が生活しています。約6千年前の縄文時代の遺跡や、平安時代の洞窟遺跡「テキ穴遺跡」も見られ、はるか昔から人々が暮らしていた面影が今に伝わっています。江戸時代には、北前船が酒田港に入港する際の風待ちや、水・食料の補給のため、年間500隻を超える船が飛島に停泊しました。最近では、Uターンや移住した若者たちによる農業・漁業への参加、島ガイドやカフェ運営、環境保全活動などの取り組みも活発化しています。

島外の人も参加する、漂着ゴミ拾い体験ツアーも人気!



独特の自然・文化が残る飛島で普段できないような体験をしてみよう!
飛島についてお話を聞きました
本間 当 さん
合同会社とびしま 代表社員
鳥海山から昇る朝日、水平線に沈む夕日、数え切れない流れ星が見られる星空、どれも飛島ならではの風景です。この美しい故郷ならではの食文化や伝統の祭りを絶やさするために、観光を通して飛島を知り、好きになってもらう活動を続けています。ぜひ一度遊びに来てください。

